

広報 えりも

Public Relations Erimo



1

月 2017

号 No. 938



うどん打ちを体験

庶野小学校（千葉敏昭校長）PTA
研修部主催の「親子でうどん打ち」が、
12月14日に同校体育館で開かれ、児
童と保護者ら67人が参加しました。

小麦粉と塩水を袋に入れ、手でな
じませてからこね始めます。次に厚
めの袋ではさみ、親子で協力して、う
どんにコシを与えるための足踏みをし、表面がつるつると滑らかなになれ
ば生地は完成です。参加者は、丸い
形に伸ばした生地を家に持ち帰り、
お好みの太さに切って、ゆでて食べる
のが楽しみな様子でした。

讃岐うどんでは有名な香川県などで
は、年明けうどんが有名。新年は、親子
で簡単に作れる手打ちうどんに舌鼓
を打ち、良いお年をお迎えください。

新年を迎えて

新年明けましておめでとうござい
ます。

皆さまにおかれましては、希望に
満ちた、輝かしい新春を健やかに
迎えることと心からお慶び申し上げ
ますとともに、日頃から町政各般に
対する格別なご理解とご協力に深く
感謝とお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、8月に台
風7号、11号、9号が相次いで北海
道に上陸し、また、31日から道内付
近を通過した台風10号の大雨など
により、道内各地で未曾有の大災害が
発生いたしました。被災されたかた
がたにお見舞いを申し上げますと
ともに、被災地の一刻も早い復旧を願
うものであります。

そのような中、町の経済を支える
漁業にあっては太宗をなす昆布漁
は、町全体として、生産高・金額と
も前年を大幅に下回る見込みであり
ます。また、秋サケの定置網漁は、
全道的にも不漁でありましたが、管
内最大の水揚げを誇る当町におい
ても前年と比較して漁獲量が5分の1
以下、漁獲額でも4分の1程度と記
録的な凶漁となりました。本年以降
の町内経済への影響が非常に懸念さ
れるところであります。

さて、町の中長期的な将来のある
べき姿と、その実現に向けた町政運
営の方針を明らかにする『第6期え
りも町総合計画』が、多くの町民の
協力を得るなか、さらに町議会での
議論を十分踏まえ策定されました。
「輝く海と大地を次世代へつなげる
まちづくり」を基本理念として、ま
ちづくりについての5つの目標を設
定し、子どもから高齢者まで誰もが
笑顔で住み続けたいと思えるまちの
実現を目指します。

また、少子高齢化や人口減少の克
服と地域の活性化に取り組むため、
『えりも町まち・ひと・しごと創生
総合戦略』も策定いたしました。

過疎化が進行するなかにあつて、
当町の合計特殊出生率は、道内トッ
プ水準にあります。この要因の一つ
として「漁業を中心とした産業基盤
の安定」があります。今後、持続可
能なまちづくりを進めていくために
は、人口減少への対策に取り組むと
ともに、海と大地がもたらす豊富な
資源を維持・活用しながら、その営
みを引き継ぐ人材を育てることが必
要であります。そこで、計画期間で
ある平成31年度まで、活力ある地域
社会を維持するよう策定された重点
施策を着実に実施してまいります。

私は、昨年12月の第5回定例会で
本年5月予定の町長選挙に出馬しな
い意向を正式に表明いたしました
が、えりも町長としての3期目につ
きましても、情熱のすべてを注ぎ、
誤りのない町政の礎を築けるよう力
の限り努力してまいりました。私の
残された任期も残り僅かとなりまし
たが、潤いのある生活重視の施策を
積極果敢に推進してまいりる所存であ
りますので、なお一層のご理解とご
協力をお願い申し上げます。



えりも町長
岩本 溥叙

町議会 第5回定例会

12月16日、第5回定例会が開会されました。町長と教育長からの行政報告から始まり、続いて議員5人から6件の一般質問がありました。

条例改正、補正予算など提出された議案は、すべて原案どおり可決され、会期1日で閉会しました。

一般行政報告と教育行政報告を要約して掲載します。

一般行政報告

マツカワ稚魚の放流

今年度も、6月30日から7月14日までの3回に分け、栽培漁業伊達センターで種苗生産されたマツカワ稚魚46万1千尾をえりもセンターに搬入して、中間育成を行いました。

稚魚は、その後順調に成長し、8月14日から10月24日にかけて、日高管内17の港において、45万5千尾を放流することができました。

町内では、小学校の児童、幼稚園・

保育所の園児及び関係機関の参加協力により、90から100ミリメートルに育てた15万尾を無事放流することができ、ますますのマツカワ資源の増大に大きく期待するものであります。

また、マガレイについては、6月21日から27日にかけて、カレイ刺し網で水揚げされた雄165尾、雌158尾を収容し、自然産卵法により受精した受精卵3089万粒を回収しました。その内、1924万粒をふ化槽に収容してふ化管理を行い、ふ化した仔魚60万尾を飼育水槽に収容しております。

他の受精卵1165万粒とふ化仔魚1416万尾については、えりも港内に放流しております。

マガレイは獐猛な習性のため断続的な減耗がありました。10月24日に約30ミリメートルの稚魚15万尾を放流しておりますので、今後の資源増に期待しております。

緑化事業

えりも岬の緑を守る会主催の「えりもイキイキ森林づくり事業育樹祭」が、10月25日に、百人浜のえりも岬国有林内で開催されました。

当日は、漁業者をはじめとする町内外101名の方に参加いただき、高さ6メートルほどに育ったクロマツの林で、枝落とし作業を行いました。

また、これまで元国有林関係者などで組織された「えりも岬緑化研究会」から、緑化事業に対して情報や助言などをいただけてきましたが、会員の高齢化などから事務局体制が見直され、今年から緑を守る会の緑化研究会として、これまでどおり育樹祭に合わせて現地検討会を実施し、緑化事業の推進に向けて、引き続き助言をいただけることとなりました。

町としましても、今後も関係機関

と連携し緑化活動を継続するとともに、様々な機会を通して、次の世代へも受け継いでいきたいと考えております。

えりも海と山の幸フェスティバル

第35回えりも海と山の幸フェスティバルが、10月2日にスポーツ公園で開催され、札幌えりも会の皆さんほか、町内外から訪れた9500人にイベントを楽しんでいただきました。

今年は、台風の影響などから秋サケの定置網漁が記録的な不漁のため、サケの入手が心配されましたが、えりも漁協や各定置網関係者のご協力により、無事に恒例の鮭のつかみ捕り大会、えりも漁協女性部による鮭鍋の無料提供やイクラ丼の販売を実施することができました。

会場では、航空自衛隊襟裳分屯基地によるカレーうどんの無料提供、えりも産の魚介類や牛肉など特産品の販売、えりも高校生による駒踊りの披露、町民吹奏楽団とえりも中学校吹奏楽部の演奏などの行事が行われました。

フェスティバルに協賛、後援いただいた産業団体をはじめ、各団体の皆様に感謝を申し上げます。

豊似湖ヘリコプター遊覧飛行と 森と湖の里ふれ愛館の開館

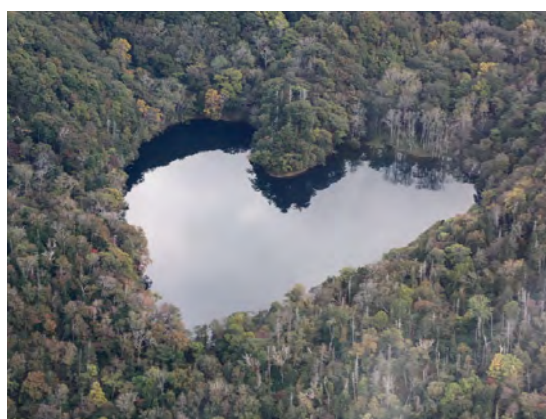
昨年度に引き続き、株式会社JTB北海道と連携し、旧目黒小中学校グラウンドをヘリポートとした「豊似湖ヘリコプター遊覧飛行」を9月17日から10月10日までの24日間実施しました。

今年度は、昨年度のアンケート結果から、豊似湖上空を2周する約8分間の遊覧飛行と襟裳岬までの約20分間の遊覧飛行の2つのコースで実施しました。期間中は、香港を含む道内外から64組106名の利用がありました。襟裳岬コースは3組6名の利用となり、今後に課題を残す結果となりました。

また、旧目黒小中学校を改修した「森と湖の里 ふれ愛館」は、9月17日にオープンし、館内では、豊似湖への観光客や町民などが利用できる休憩室や地場産の食材を使用した飲食を提供し、10月31日までの期間で596名の利用がありました。

次年度は、春の大型連休には開館できるように検討していくとともに、郷土資料館や日高振興局森林室と連携をし、豊似湖や猿留山道を活用した体験型観光のメニューの開発や展示にも取り組み、襟裳岬に続く

観光の拠点としたいと考えています。



襟裳岬に続く観光名所として注目される豊似湖

JR日高線の復旧問題

低気圧にともなう高波で線路が損壊し、昨年1月から不通となっているJR日高線については、被災当初、日高町村会が中心となつてJR北海道や国の関係機関に早期全線復旧を求め、要望活動を展開いたしました。

さらに、昨年12月からはJRの提案で「日高線を持続的に維持すること」をテーマに、JRと日高振興局、管内7町による日高線沿線自治体協議会を立ち上げ、協議を続けてまいりました。

協議会では、日高線の利用状況や収支の検討、利用者を増やす方策等の提案、JR側からの地元負担の提示が行われましたが、一方で8月中の一連の台風により、線路の被災箇所が拡大するといった新たな問題も生じました。

11月7日には第6回目の協議会が開かれ、管内7町としては、JRが求める多額の地元負担は困難であるとし、この問題に対する鉄道事業者としてのJRの責任ある考え方を示すよう求めたところでありました。

また、JRは11月18日に単独で維持することが困難な10路線13区間を発表し、地域との協議を進めるとしております。

運休から間もなく2年、議論が長期化しておりますが、日高線は、地域住民の日常生活にとつては重要な交通インフラであり、管内各町と連携して、この問題の解決に努めてまいります。

地域包括システム等の推進に関する協定

11月10日、地域包括ケアシステム等の推進に関する協定を、エーザイ株式会社との間で締結しました。

エーザイ株式会社は、グローバルな製薬会社として、医薬品の研究開

発・製造・販売などを展開する一方で、ヘルスケア（健康管理）における多様なニーズを充足させるための活動も行っております。この活動のひとつとして、認知症やがん、ロコモティブシンドローム（運動器症候群）などの予防について、市町村との間で連携・協力体制の構築を進めており、日高管内においても浦河町や新ひだか町で既に協定を締結しているところでありました。

今回締結した協定につきましては、地域包括ケアシステムの構築推進に加え、介護予防に係る知識の普及・啓発や、生活習慣病の発症や重症化の予防などの項目が盛り込まれており、今年8月に生活協同組合コープさっぽろとの間で締結しました地域見守り活動に関する協定と同様、民間事業者との連携・協力を図りながら、町民の健康増進に向けた取り組みを進めてまいります。

町民フォーラムの開催

認知症をテーマとした町民フォーラムを、福祉センターにおいて12月3日に開催しました。

この町民フォーラムは、エーザイ株式会社との間で締結しました、地域包括ケアシステム等の推進に関する協定に基づき実施したもので、講

師には北海道テレビ（HTB）で放映されている朝の情報番組のレギュラーコメンテーターとしても活躍されていました。さつぱろ悠心の郷ときわ病院長の宮澤仁朗先生をお招きして、約90分に渡る講演を行っていただきました。

今回の講演は、副題となっており、まず認知症の早期発見・予防に関することを主な内容としておりましたが、今後におきましても、「いきいき100歳体操」や「頭の健康チェック」などの認知症予防対策の実施とともに、引き続き町民フォーラムの開催などを通じて、認知症に対する正しい知識の普及・啓発にも、より一層努めてまいります。

サケの飯寿司づくり体験

えりも地域力発掘協議会主催の「第8回サケの飯寿司づくり体験会」が、11月12日と13日に開催され、札幌市や遠軽町など道内各地から47組76名の参加がありました。この事業につきましても、秋サケの定置網漁の不漁から開催が危ぶまれましたが、関係機関の協力により無事開催することができました。

12日はえりも栽培センターで、下準備であるサケの三枚おろしと切り身づくりを行い、翌13日には、えり

も町第二体育館において樽に漬け込む作業を行い「飯寿司づくり」を体験していただきました。

この事業は、参加者のリピーターも多く、町としても、秋サケの利用や町内に宿泊するなど経済波及効果も大きいことから、今後も関係機関と連携し、継続に向けて協力していきたいと考えております。



サケの飯寿司づくり体験会の2日目、樽に漬け込む作業をする参加者

教育行政報告

全国学力・学習状況調査の結果

本調査の本年度の結果は、全国・

全道平均正答率に比べ、小学校では2教科（国語B、算数B）が全道平均以上（全国平均に極めて近づく）、2教科（国語A、算数A）が全道平均となり、中学校では2教科（国語A、国語B）が全道平均に一層近づきましたが、2教科（数学A、数学B）では全道平均との差が大きいという結果となりました。

領域では、小学校では「書くこと」（国語B）、「量と測定」（算数A）、「数と計算」（図形）（算数B）で全国平均を上回りました。また、中学校では「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」（国語A）が全国平均を上回り、「資料の活用」（数学A）が全国平均となりました。

一方、小学校では「話すこと・聞くこと」（国語B）、「図形」（算数A）が全道平均を下回り、中学校では数学Bの各領域が全国・全道平均を大きく下回りました。

児童生徒質問紙では、小学校と中学校共に「授業で扱うノートには、課題とまとめを書いていたと思う」と回答した割合が全国を上回りました。

反面、家庭学習の時間の不足や、携帯電話やスマートフォンの使用時間が多く、所持率も全国より高いなど、大きな課題となりました。

教育向上対策委員会の4年間の総括

教育委員会では、教育向上対策委員会と共に数値目標（4年間の数値目標を基礎力A8割程度、応用力B5〜6割程度）を掲げて基礎学力の向上を目指してきましたが、節目の4年目となりました。また、全国調査も平成19年度から実施され10年目となったところでです。

その結果を「教育委員会だより」で報告したところですが、「平均正答率の全国との差の推移」を見ますと、小学校では平成24年度以降、大きく上昇し学力向上が見られました。中学校では平成26年度から徐々に向上の傾向が見られる反面、課題も明確になりました。

8教科を教科別に見ますと、「達成とおおむね達成」が3教科（小国語B、小算数A、中国語B）、「あと一歩」が3教科（小国語Aと小算数B、中国語A）となり、「未達成」が2教科（中数学Aと中数学B）という結果になりました。

12月22日には教職員が一堂に会して本年度の総括を行うとともに、北海道教育大学の先生を招いて算数、数学の指導の在り方などについて学ぶ機会を予定しております。

教育委員会としては、今後も「凡

事徹底」と「家庭学習の充実」を図るとともに、中学校の指導に重点を置いて推進してまいります。

学校力向上に関する総合実践事業の推進

3年目となる本事業は、学校力向上に向けて一層研修を深め推進されました。

具体的には、2学期に入り10月に道外アドバイザー講演会、11月には道内アドバイザー講演会を開催し、授業への指導助言と講話を行いました。また、事業のひとつミドルリーダ育成では、学校の要となる教務主任が集まる教務作業部会が積極的に活動しており、現在、30年度からの道徳教科化に向けた教育計画について検討しています。このことは学校組織の正常化の上で、高く評価できることと言えます。

日高教育局指導主事と教育委員の学校訪問

学校経営の充実と教職員の資質・指導力向上を目指す本訪問は、12月ですべての学校において指導主事14回、指導監15回の延べ29回実施することができました。

本年度は、新たな方策として、学校運営が組織的にしつかりとした役割を

果たすよう、教務主任の説明を位置付け、話し合いでは授業改善を図るワークショップ型の研究協議を進めるなど、一層、研修の充実が図られたと考えております。

また、本年度は、教育委員の学校訪問について校長、教頭からの説明に加え、教務主任、生徒指導主事、道徳教育推進教師の説明を行うとともに、町議会議員の皆様にも参観を願ひ、学校の現状を一層理解いただく機会を設けるなど、訪問形態に工夫したところです。今後も3年に一度程度の実施を計画しております。

議員の皆様には、各学校を訪問いただきましたことに深く感謝を申し上げます。

いじめ調査の結果と対応

本年度2回目となる本調査を11月に実施しました。児童生徒のアンケートでは、「いじめられたことがある」との回答は、小学生31名、中学生2名、高校生0名で、「今もいじめられている」との回答は小学生2名、中学生1名、高校生0名でありました。この調査結果を受けて、現在、事実確認を行い、認知の有無やよりよい人間関係の醸成に向けて進めております。

いじめ根絶では、今年度で3年目

となる「いじめ撲滅標語」（小学3年生以上の全ての児童生徒）を募集し、最優秀、優秀賞の標語ポスターを作成して全校で掲示するとともに、日高管内いじめメッセーシコンクールにも応募し、すばらしい標語として選ばれました。

また、町の人権擁護委員がのぼりやポスターを学校行事で掲げたり、人権教室を開催するなど、すばらしい学校支援が行われました。

今後も教育委員会として気を緩めることなく、学校、家庭、関係機関と連携を一層図り、いじめ撲滅を推進してまいります。

中高一貫教育の推進

4月の高校進路担当者による「中学生保護者向けキャリア教育説明会」をはじめ、8月には中学3年、高校1、2年を対象に中高合同による「職業別ガイダンス」、10月には中学2年の「1日体験入学」、11月には中学3年が高校教員による「中学生面接」を実施するなど、積極的に進められました。

また、地域の自然を学ぶ機会として、6月に中学生、9月に高校生が環境教育「百人浜に学ぶ」を実施しました。

さらに、今年度は新たなキャリア

教育として、12月には、小学6年生と中学生全員に対し、進路別の高校生4名が進路決定までの自らの体験を話す進路講話を行い、小・中・高の連携を図り進路について考える機会の充実を図りました。

授業では、高校教員の中高一貫教育講師等による乗り入れ授業をはじめ、教科コンクールや各種検定、部活動の連携も進められ、積極的に中高連携が推進されております。

その結果、準入学選抜試験では、各科目における本校平均と全道平均の差が、年々縮小してきております。

えりも高校の教育活動

(1) 進路指導

本校における進路指導は、11月11日現在、41名中就職16名、進学13名の29名で内定率70.7%となっております。近年、進学と就職が6対4の割合で推移していましたが、本年度はほぼ半数となっております。

本校では、早期の進路意識向上のため、面談活動をはじめ「総合的な学習の時間」で系統的、継続的な進路学習を生かし中学1年生から6年計画の中・高の接続を図るキャリア教育計画を作成し、保護者や生徒への教育活動、説明を行いました。

具体的には、1年次では職業調べや職業別ガイドダンス、2年次ではインターンシップ、3年次ではキャリアアップ学習等を行い、全学年で課外講習体制を確立し、各種講習、勉強合宿、検定前講習等を実施してまいりました。

教職員の熱心な指導に心から感謝するとともに、今後も進路実現を目指し、きめ細かな進路指導の充実を図ります。

(2) 高文連美術展

毎年実施されている北海道高等学校文化連盟の支部美術展において本校美術部の8作品が出品され、1作品が最優秀、4作品が優秀賞となり、5作品が全道美術展に出品されました。

今後も美術部の更なる発展を期待するものであります。

(3) バレーボール部の全道大会出場

10月1日に新ひだか町で開催された「第69回全日本バレーボール高等学校選手権大会北海道支部予選会」で、女子バレーボール部が優勝し全道大会へ出場し善戦しました。

(4) 海外研修

本年度は2年ぶりに実施され、姉

妹校である茂山中高等学校の生徒と交流を深めました。

また、仏国寺や古墳公園の見学、慶州ナザレ園の訪問など、歴史・文化を学び異国の人々と触れ合いました。

生徒たちは、「初めての海外で日本と文化の違いを体験し、韓国のおよそと日本のよさを実感できました」と感想を述べるなど、4泊5日の実りある海外研修となりました。

帰国後のアンケートでは、「後輩たちにも韓国での研修旅行を勧めたいか」の質問に対し、全員が「そう思う」との回答が上げられました。

今後は、本年度の様子や生徒等のアンケートを踏まえ、海外研修の実施に向けて検討してまいります。

高齢者教室生大会

11月5日に、町内10地区の教室で学習する皆さん125名が参加し、高齢者教室生大会を開催しました。

この大会は、落語鑑賞や芸能発表を通して、教室生の皆さんに心の潤いや親交を深めるために毎年開催しているものです。

今後も、教室生の皆さんの意見を踏まえて、高齢者の学びを支える環境づくりを進めてまいりたいと考えております。



東洋地区教室生の芸能発表(高齢者教室生大会)

幼児教育振興会事業

10月28日に、町幼児教育振興会は幼児向けの人形劇の鑑賞会を開催しました。幼稚園・保育所の親子など150名が来場しました。

また、11月22日には、マルチインストラクターを講師に迎え、「心と体を整える」と題して講演会を開催しました。

参加した保育士やお母さん方は、「子どもをやる気にさせる言葉のかけ方」などについて理解を深めました。

PTA連合会研究大会

11月22日に、町PTA連合会は、「地域に根ざした人間性豊かな子ども

を育てよう」を主題に、研究大会を開催しました。

当日は公立学校共済の学校支援アドバイザーを講師に迎え、子どもの健全育成に必要な家庭・学校・地域それぞれの果たす役割について学びました。

青少年健全育成事業

11月20日に青少年健全育成会は、青少年教育振興機構が推進する「体験の風をおこそう運動」の一環として、第3回目となる「子ども遊びりんピック」を開催しました。

本事業は、「つまむ」や「投げる」など、子どもたちの日常生活で不足している動作を取り入れた競技的な体験活動であり、町内小学生42名が参加し、スリッパ飛ばしや、割り箸を使つての豆移しなどの競技を行いました。

放課後児童クラブ

本事業は、保護者が就労等で家庭不在の際、小学1年生から3年生までの児童を対象に、授業終了後の居場所を与えています。本年度は、このクラブも平成24年4月に開設して5年目を迎えました。

11月末現在の登録者数は、最も多いえりも小学校が43名で対象児童全

体の48%であり、利用者数は延べ3285名となっております。

芸術・文化の振興

10月14日から30日までの期間、「えりも町文化祭」が福祉センターにおいて開催されました。今年作品展示会（出展数847点）は、より多くの方に作品を鑑賞していただけるように、例年よりも展示期間を6日間延長し、延べ821名の来場者が作品を鑑賞しました。

また、30日に行われた芸能発表会では、襟裳岬少年神楽や少年少女のダンスサークル・イー・ハーツなどの文化協会加盟団体等8団体が出演し、日ごろの練習成果を披露するとともに、延べ300名の観客がそれぞれの発表を鑑賞しました。

体育の振興

(1) 町民マラソン大会

スポーツを通して町民の健康・体力づくりの維持・増進を図ることを目的に、毎年10月の体育の日に町民マラソン大会を開催しています。今年で38回目の大会は、百人浜に会場を移して3回目となりました。

当日は町内飲食店による出店協力やウインディーくんも大会を応援、

幼児から成年までの164名のランナーが健脚を競い秋晴れのなかで大変盛り上がった大会となりました。

(2) えりも町スポーツ奨励賞

10月26日に町福祉センターにおいて、本年度優秀な成績を収めた2名の児童生徒にスポーツ奨励賞を授与しました。今後、一層の活躍を期待します。

郷土資料館事業

(1) 体験事業

「わらしやんど・えりもまるごと自然体験」では、11月26日に伝統的なお正月飾り「まゆだまづくり」体験を実施しました。また、年3回実施している体験陶芸教室の10月の開催には、午前と夜の2部に分けて、町内外から19名が参加し陶芸づくりが行われました。

(2) 学校教育への協力

学校教育関係では、えりも中学校2年生の職場体験の受入れや東洋小学校での陶芸体験を実施するとともに、管内高等学校教頭研究協議会研修が郷土資料館で開催され、当町の歴史や自然、産業について説明するなど、学校への支援を行いました。

平成6年広報紙 で見る町の歩み

主な出来事

特養老人ホーム・やまと苑開設
役場新庁舎の建設に着手
表紙
平成6年1月下旬号
郷土の若人94人が出席した「成人式」



2月に、老朽化していた笛舞小学校舎・体育館の高台への移転改築が完成し、昭和58年に着工した歌別漁港の第1期工事と荷捌き施設も完成して、ともに地域ぐるみで祝った。

3月には、大和地区に待望の特別養護老人ホーム・やまと苑（入所定員30人・ショートステイ10床）と、デイサービスセンター（15人・日帰り利用）が完成し、4月1日に開所して、町の高齢者福祉施設が大きく充実した。

5月、庶野さくら保存会と浦河道有林管理センター共催で「植樹祭と森の音楽会」を庶野さくら公園で開催し、エゾヤマザクラの苗木60本を植樹した。町栽培漁業振興協議会では、日高管内初のハタハタ稚魚30万尾を試験放流した。

第11回朝日森林文化賞の受章を記念して、6月にえりも岬の緑を守る会会員、小学生ら180人がクロマツの苗木5千本を百人浜国有林

に植樹した。6月定例町議会会で、町役場庁舎改築工事の請負契約が議決され、平成7年度の完成を目指す。建築主体工事11億9583万円、電気設備1億6068万円、機械設備2億5132万円。

三島力雄教育長は9月定例町議会会で、平成7年度の公立高校適正配置計画原案に、えりも高校の間口増（2間口）が盛り込まれたと報告。10月、東洋の佐々木キサさんが、

町民初の満100歳を迎え総理大臣と道知事、佐々木町長から祝状と祝品が贈られた。町国保診療所鈴木陽子所長の随筆「母さん医師、遠く離れて単身赴任」講談社出版）の出版記念祝賀会が10月に開かれた。

ひとり暮らしのお年寄りの自宅と消防、役場とを電話回線で結ぶ緊急通報システムのサービスが、12月1日から開始され、身体の変調や火災などの緊急事態に対応できるようになった。

後期高齢者医療制度のお知らせ

～ 高額介護合算療養費及び医療費通知について ～

■ 高額介護合算療養費について

医療と介護の両方を利用している世帯の自己負担を軽減する制度です。

同じ世帯の被保険者が、1年間に支払った後期高齢者医療制度と介護保険の自己負担額の合計が限度額を超えたときは、その超えた額が後期高齢者医療制度及び介護保険から支給されます。

なお、手続きには申請が必要となります。

- 後期高齢者医療制度または介護保険の自己負担額のいずれかが0円の場合は対象となりません。
- 支給額が500円以下の場合には支給されません。

◆ 自己負担限度額表 【1年分の自己負担額の計算期間：8月1日～翌年7月31日】

| 負担割合 | 区 分 | | 自己負担額の合計の基準額 |
|------|----------|---------|--------------|
| 3割 | 現役並み所得者 | | 67万円 |
| 1割 | 一 般 | | 56万円 |
| | 住民税非課税世帯 | 区分Ⅱ(※1) | 31万円 |
| | | 区分Ⅰ(※2) | 19万円 |

- ※1 世帯全員が住民税非課税である方。
- ※2 世帯全員が住民税非課税であり、世帯全員の所得が0円(公的年金収入のみの場合、その受給額が80万円以下)、または老齢福祉年金を受給している方。

申請される方は、えりも町役場保健福祉課医療給付係までお申し出ください。

■ 医療費通知を全受診者へ送付します

これまでは希望者にお送りしていましたが、平成28年9月送付分より全受診者(平成28年1月～6月に受診された方)にお送りします。なお、発行時期は従来の9月と翌年3月に変更ありません。

【イメージ図】

| 受診年月 | 診療を受けた医療機関等 | 診療区分 | 日数 | 医療費総額 | 自己負担額 |
|--------|-------------|------|----|--------|-------|
| H28年1月 | 〇〇病院 | 医科外未 | 1 | 18,000 | 1,800 |
| H28年2月 | ××薬局 | 調剤 | 1 | 10,000 | 1,000 |
| 合 計 | | | | 28,000 | 2,800 |

※確定申告(医療費控除)の際の添付資料としては使用できません。

※この通知は、皆様の受診状況についてお知らせするもので請求書ではありません。

◆ 医療費通知の活用について

- 医療費の推移が一目でわかるため、ご自身の健康状態の把握や健康管理に活用できます。
- インフルエンザ予防や健康診査など、皆様の健康保持・増進に役立つ情報が記載されています。
- 診療日数等に間違いがないか確認しましょう。

お問い合わせ先

| | |
|--|--|
| <p>北海道後期高齢者医療広域連合 〒060-0062 札幌市中央区南2条西14丁目 国保会館 6階 ☎ 011-290-5601</p> | <p>えりも町役場 保健福祉課 医療給付係 ☎ 2-4622</p> |
|--|--|

エゾシカ有害捕獲の実施

エゾシカ個体数削減と被害を抑えるために



圃産業振興課 林務係 (☎24623)

近年、エゾシカの個体数が増え、住宅地周辺や放牧地など、銃器による捕獲が困難な場所にも、生息域が広がっています。

山林に入る人が少ないこの時期に、エゾシカの個体数削減と被害を抑えるため、有害捕獲を次のとおり実施します。

●実施期間

平成29年1月から3月まで

●実施日程

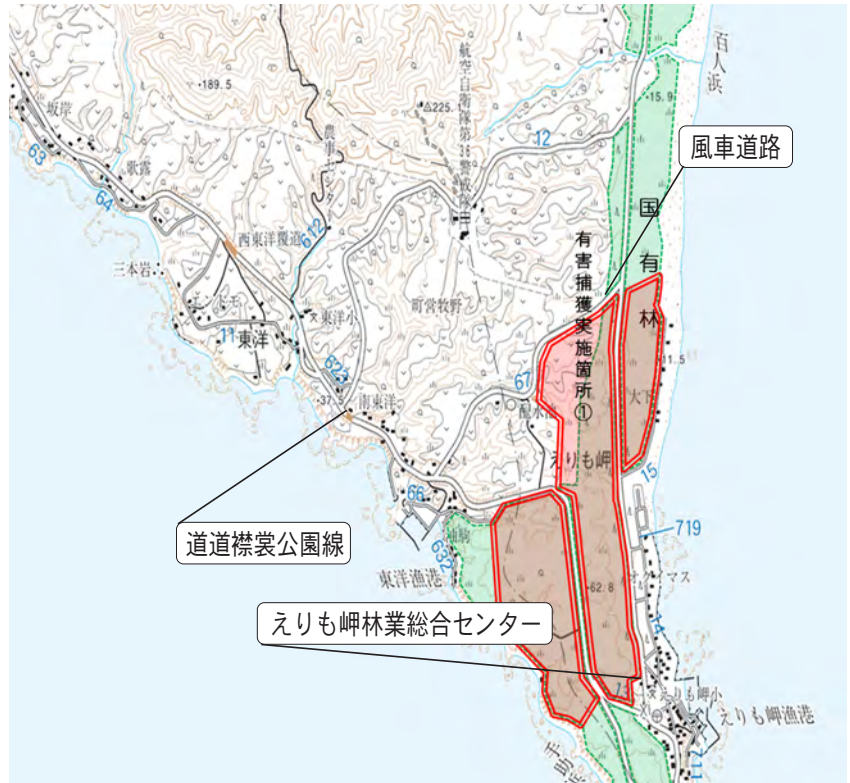
○全6回

| | |
|-------|--------|
| 1月8日回 | 1月15日回 |
| 2月5日回 | 2月19日回 |
| 3月5日回 | 3月19日回 |

●実施時間

午前7時から12時に終了予定

実施箇所① 岬林業総合センター ～ 風車道路 (苫別側)



●実施箇所

○国有林 (実施箇所①)

えりも岬林業総合センターから風車道路の苫別側

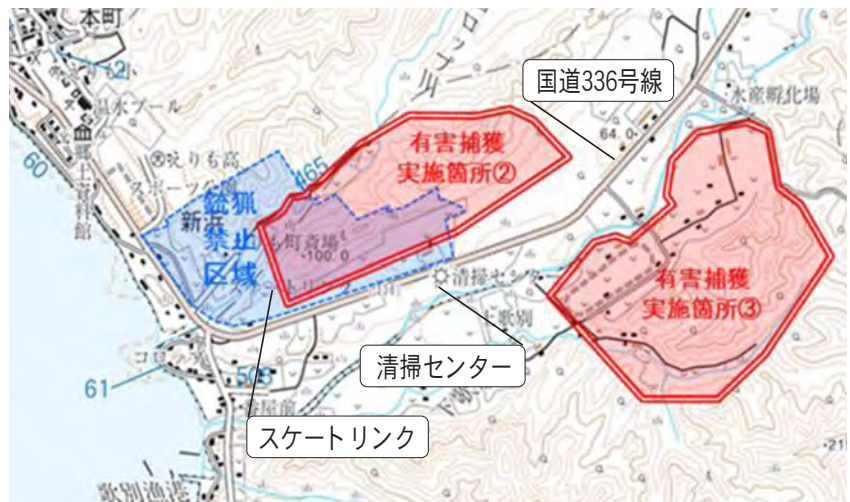
○銃猟禁止区域 (実施箇所②)

町営スケートリンク場から町清掃センター

○旧エクセルマネジメント放牧地

第4・第5厩舎 (実施箇所③) 現 岡田スタッド放牧地

実施箇所② 町営スケートリンク場 ～ 町清掃センター
実施箇所③ 旧エクセルマネジメント放牧地第4・第5厩舎 (現 岡田スタッド放牧地)



有害捕獲を実施中のときは、実施箇所周辺の国道や道道に「のぼり」を設置しています。

実施区域周辺の住民の皆様には、ご迷惑をおかけしますが、ご協力を願います。



有害捕獲実施中の「のぼり」

| 担当地区 | 委員氏名 | 電話番号 |
|------------------|-------|-----------|
| 近浦 | 岩間登美子 | ② 3 6 5 9 |
| 笛舞 | 小笠原登子 | ② 3 5 5 3 |
| 大和・和里・西えりも第3 | 沼舘 信夫 | ② 2 6 2 4 |
| 西えりも第1・第2 | 喜多 節子 | ② 2 5 4 1 |
| 本町・中央・住吉・沢町 | 川上 司 | ② 2 0 2 0 |
| 柏台・高見・みどり | 東海林 弘 | ② 3 0 8 1 |
| 旭ヶ丘・新栄 | 中村 幸子 | ② 3 8 5 5 |
| あけぼの・新浜 | 運上 英昭 | ② 3 1 2 9 |
| 浜歌別・上歌別 | 加藤 弘子 | ② 2 6 7 5 |
| 歌別・東歌別 | 岩川 紀枝 | ② 3 3 3 0 |
| 歌露・エンドモ・東洋(ヤギベツ) | 中野 友子 | ③ 1 6 4 4 |
| 南東洋・油駒 | 富野 三仁 | ③ 1 5 1 3 |
| えりも岬 | 高橋 倫陽 | ③ 1 9 1 9 |
| 苦別くシトマン川 | 金澤富士雄 | ④ 2 3 0 9 |
| シトマン川く美島 | 匂坂 将史 | ④ 2 0 4 1 |
| 目黒 | 高田香奈江 | ⑤ 3 3 0 2 |
| 主任児童委員(町内全域) | 神田 眞弓 | ② 2 0 6 6 |
| 主任児童委員(町内全域) | 川合 明美 | ③ 1 9 2 2 |

地域の身近な相談役



民生委員、児童委員として、次の方々が12月1日付けで委嘱を受けましたのでお知らせします。ご家族のことや地域の問題などがありましたら、お気軽にご相談ください。

課 課 課 課 課
町 民 生 活 課
社 会 係
(☎ ② 4621)

軽自動車の廃車手続きはお早めに



課 課 課 課 課
税 務 課 課 税 係 (☎ ② 4620)

所有している軽自動車(原動機付自転車、自動二輪車、トラクター等を含みます)で、すでに使用していないものや、廃車にしたもので届け出を行っていないものはありませんか? 軽自動車税は毎年4月1日現在に所有している車両に課税されます。届け出をしていない場合、新年度も課税となります。また、3月末に届け出を行うと、手続きの完了が4月1日を超えてしまい、新年度も課税となることがあります。

は次の方法で、お早めに届け出を行ってください。

① 軽自動車、自動二輪車(室蘭ナンバーのもの)
社団法人全国軽自動車協会連合会での手続きが必要となります。

② 原付、トラクター等(①以外の車両)
えりも町から交付されているナンバープレートと印鑑を持参のうえ、税務課に届け出を行ってください。

また、ナンバープレートを外しただけでは廃車扱いにはなりませんので、必ず手続きを行っていただきますようお願いいたします。

次のような場合には、税務課課税係までご相談ください。

(1) 滅失または解体され、走行することが出来ない軽自動車(バイク)などで、所有者の所在不明または利害関係者などの不承諾により、自主的な登録の抹消が困難な場合。
(2) 盗難によって、現に軽自動車を所有していない場合で、所有の回復が事実上困難であると認められる場合。

(3) その他(1)(2)の状況に近いものとして自主的な登録の抹消が困難な場合。
このような場合には、詳しいお話を伺いし、状況を確認のうえ対応について検討いたします。

使用していないものや、廃車にしたものがあるとき

こんにちは
保健師です

子どもの将来のために、 家庭で取り組む むし歯予防

保健センター
☎②4630
保健福祉課
☎②4622

えりも町の3歳児の1人あたりのむし歯の本数は、0.39本で年々減少傾向にあります(図1)。しかし、ここ数年、むし歯のある子とむし歯のない子の差が大きくなっています。

むし歯の原因となる細菌(ミュータンス菌などは、糖質を分解し細菌の集合体(歯垢)を形成します。これが歯を溶かす酸を生成し、虫歯を発生させます。

3歳までに細菌の感染を防ぐ

むし歯の原因となる細菌は、生まれたばかりの赤ちゃんの口の中には存在しません。お母さんやお父さん、おじいちゃん、おばあちゃんなど身近な人から感染します。3歳までに細菌の感染を防ぐことで、一生むし歯になりにくいことが分かっています。

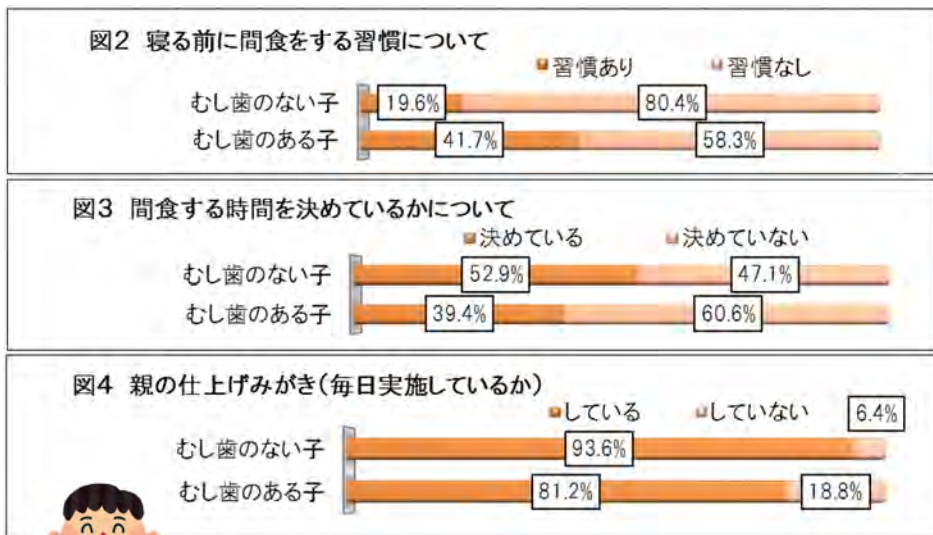
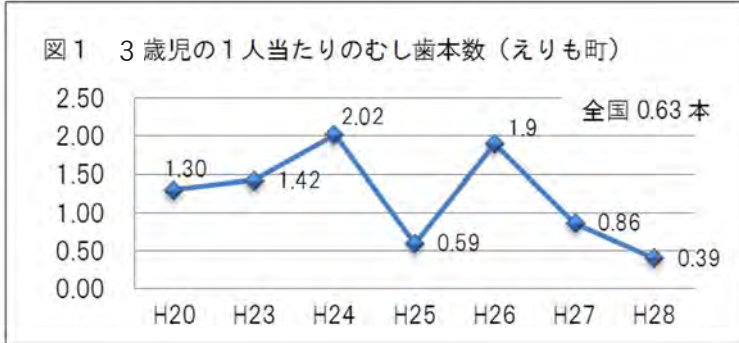
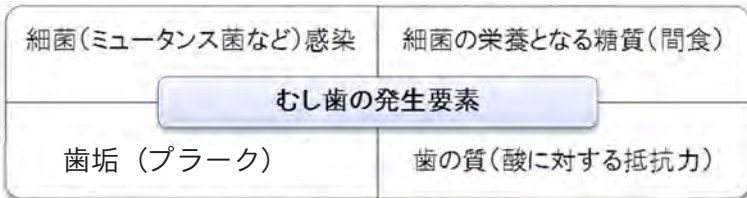
フッ素で歯の質を強くする

フッ素は、細菌が作りだす歯を溶かす酸の生成を抑制し、その酸に対して抵抗力の強い歯を作ります。また、むし歯になりにかけている歯を元の健康な歯に戻す効果があります。えりも町では、年2回から4回、歯科医によるフッ素塗布を実施しています。また、保育所や小学校では、平成25年からフッ素洗口が開始されています。

生活習慣と歯みがきでむし歯を防ぐ

むし歯のある子とない子の差が生じる一番の要因は、糖質(間食)の摂り方と歯みがき習慣にあります。毎年、えりも町の1歳から6歳までの保護者に行っているアンケートでは、「寝る前は間食をしない」「間食する時間を決める」「毎日子ども仕上げみがきを行う」ということを実践している家庭のお子さんは、むし歯が少ない傾向にあることが分かりました(図2から図4)。

乳歯にむし歯が多いお子さんは、永久歯にも移行する傾向にあります。むし歯になりにくい体質づくりは、3歳までの細菌感染と生活習慣、仕上げみがき(歯垢除去)など、家庭での取り組みが重要です。子どもたちは冬休みを迎えました。特にお正月は、生活習慣が乱れやすくなります。家族みんなで間食の摂り方に注意し、歯みがき習慣を徹底しましょう。



1月の保健メモ

場所：♡…保健センター ♣…町立診療所
予約：保健センター ☎②4630

11日(木)・25日(木) ♡浦河ひがし町診療所巡回診療

【時間】 13時30分～14時30分(要予約)

【予約】 上記診療所へ(☎0146@7800)

12日(木)・13日(金) ♡子供料理教室(要予約)

【時間】 10時～13時30分

12日(木)・26日(木)・2/9(木)・2/23(木) ♡予防接種(要予約)

【時間】 ヒブ/小児用肺炎球菌(同時接種可)

13時40分～13時50分

B C G/ポリオ

14時～14時10分

四種混合/B型肝炎予防接種

14時10分～14時20分

水痘/麻しん風しん混合(同時接種可)

14時30分～14時40分

日本脳炎(I期)

14時50分～15時

【予約】 実施日の3日前まで

12日(木)・2/2(木) ♣二種混合予防接種・日本脳炎予防接種(Ⅱ期、特例)

【時間】 15時30分～16時

【予約】 前の週の金曜日まで

17日(木)・2/7(木) ♡乳児健診(個別通知)

【時間】 9時～11時

27日(金) ♡離乳食教室(要予約)

【時間】 13時30分～15時30分

30日(木)・2/13(木)・2/27(木) ♡冬の運動教室(要予約)

【時間】 13時30分～15時30分

町外で予防接種ができる医療機関

○浦河赤十字病院 小児科☎0146@5111

ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、麻しん風しん、
日本脳炎、B型肝炎

○広尾町ファミリークリニック 小児科☎01558@2700

ヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合、水痘、麻しん風しん、
日本脳炎、B型肝炎(また、二種混合は学校の冬休み期間中に受けることができます)

▶□タ・おたふく、大人の風しん予防接種の助成を希望される場合は、印鑑をご持参の上、保健予防係にお越しください。

▶不妊治療への助成を行っています。保健予防係へお問い合わせください。

冬の運動教室のご案内

～体もこころもスッキリ運動教室～

☎保健福祉課 保健指導係(☎②4630)

♪運動不足を感じている方

♪体重を減らしたい方

♪筋肉が落ちてきたと感じている方

♪興味はあっても運動をしていない方など

体を動かしたい方、ぜひ運動教室に参加してみませんか？

運動教室に参加し、体もこころもリフレッシュして、運動の効果を実感しましょう！

●日程

平成29年1月30日(木)、2月13日(木)、2月27日(木)
13時30分～15時30分

●場所

保健センター 2階集団指導室

●料金

無料

●内容

血圧測定・体成分分析装置での身体測定
楽しく気軽にできる運動
ストレッチ、リズム体操、有酸素運動

体成分分析装置での身体測定

【測定項目】

基礎代謝量、身体年齢、筋肉量・
脂肪量、内臓脂肪面積

※測定するとき、裸足になります

【測定可能日】 1月30日、2月27日



●対象

えりも町民、体を動かしたい方、体重の減少や
体力をつけたい方など運動したい方

※病気などで医師から運動制限を受けている方
はご遠慮ください。

●講師

地域ウエルネス・ネット(札幌市)
フィットネスアドバイザー

●定員/

20名 ※定員になり次第締め切ります。

●申込期間

平成29年1月6日(金)から教室当日まで

一般書

恋のゴンドラ 東野 圭吾
 漁師と水産業 実業之日本社
 ホームセンター完全ガイド 晋遊舎
 きほんの手作りお菓子 はじめてでも失敗しない！
 コマツザキアケミ
 100円グッズでプチ！ガーデニング
 主婦の友社

児童書

うさぎマンション のはなはるか
 くいしんぼうのクジラ 谷口 智則
 かみなりどん 武田 美穂
 くつしたしろくん 鈴木出版
 恋☆友まるわかりっ！心理テストスペシャル
 ナツメ社
 魔女になりたい！見習い魔女ベラ・ドンナ1
 ルース・サイムズ

防災 情報版

74

11月22日福島県沖でマグニチュード7.4の地震が発生し、福島県・宮城県に津波警報、青森県から千葉県までの太平洋沿岸の広い範囲で津波注意報が発令されました。仙台港で1.4mの高さ

の津波が、福島県相馬や岩手県久慈で約80cmの津波が観測されました。

北海道でも浦河で30cm程度の津波が観測されました。北海道沿岸には注意報は出ませんでした。今回の津波はM7クラスの地震としては広い範囲で比較的高くなったと言えます。その原因は地震が発生した場所が陸から50km程度と近く、水深の浅い海底の下で発生し、しかも地震の震源が数km程度と浅かったためと考えられます。今回の地震のように水深の浅い海底の直下で発生すると津波は太平洋（遠洋）に出て行くことが出来ず、外洋に向かった津波が沿岸に戻ってきます。そのため、広い範囲の日本沿岸で津波が比較的高くなります。今回の津波が震源から比較的遠い岩手県の久慈でも震源近傍の福島県相馬と同規模の80cmもの津波が観測されたのはそのためです。

例えば2004年釧路沖地震の津波が浦河で観測されたのも同様です。今回の地震はM7クラスであったため、津波の規模は被害を及ぼすほど高くなかったですが、将来発生する地震・津波に備えて、陸域近傍で大地震が発生した場合、震源の近傍だけでなく広範囲の沿岸で津波が高くなることを知っておくことが大切です。

今年も残り少なくなりましたが、振り返ると4月の熊本地震や10月の鳥取地震のような被害をともなう直下型地震も発生しました。日本で大地震や津波が発生し被害が出るたび大きく報道されます。その時、他人事だと考えず、えりも町で発生した場合を考えて、自身の防災への備えをチェックしましょう。住民・自治会みずから災害に強い街づくりに貢献して欲しいと思います。



谷岡 勇市郎

北海道大学地震火山研究観測センター 地震観測研究分野教授・センター長、PhD。
 米国ミシガン大学博士課程修了後、気象庁気象研究所研究官、北海道大学助教授を経て2010年4月より現職。
 専門は地震学(巨大地震・津波)。

こころで一句

えりも吟社

恙なく老いて今年も年賀書き
 台風や有無を言わせぬ川の水
 紙風船残し越後の薬売り
 木洩れ日の地を暖かに秋うらら
 夕暮れの雲の流れに鳥渡る
 渾身の赫に仕上げて秋の山

川村 和子
 鈴木 勇高
 手塚 澄子
 前田 亜以
 蛸名 渚
 小山内 崇峰

おすすめの **新刊** 情報

本

図書室だより

- 開室日時
月・水曜日～日曜日
9時～17時
- 閉室日
火曜日・祝日・年末年始



図書室マスコットキャラクター
BOOK(ブック)くん

圃福祉センター図書室

☎2526 E-Mail: erimolib@seagreen.ocn.ne.jp



雪煙チェイス

著者 東野 圭吾 出版社 実業之日本社

殺人の容疑をかけられた竜実。彼のアリバイを証明できる人物、正体不明の美人スノーボーダーを捜しに、竜実は日本屈指のスキー場に向かった。それを追うのは所轄の刑事・小杉。広大なグレンデを舞台に予測不能のチェイスが始まる！どんでん返し連続の痛快ノンストップ・サスペンス。



とうだい

文 齊藤 倫 出版社 福音館書店

岬に一本、灯台がたちました。灯台の前を、漁船や魚が毎日行きかいます。みんな、知らないどこかから来て、どこかへ行くんだ…。そんな灯台のところへきた渡り鳥。彼らから遠い国の驚くような話を聞き、自分はどこにも行けないことを痛感します。ある冬の日、大嵐のなか、灯台にできることとはいったい…？

寛政七年（一八五四）に猿留山道
を歩いた記録『蝦夷目撃』から、目黒
から沼見峠への様子です。

サルル 泊り 福嶋屋持 御通行家
ここから峠になり極めて難所なり
カルシコタン 小休 腰掛け番屋
此の間に猿留川を歩いて渡る。マ
スがたくさんいる。ここから沼見峠
へ登る。極めて難所なり。

山の峰に周り四百メートルほどの
池がある。誠に水が清い。この池は
海までぬけて、むかしからクジラの
子が出るという。

この沼に石を打ち込めば、次第に
大荒れになるといふ。日中二・三人
位で通れば、極めて雲が曇り、池の
端に化け物の入道が出るといふ。

この山にはシカがたくさんいて案

えりも しりょうかん MUSEUM

猿留山道

えりも町指定文化財

34

内してくれている足軽が鉄砲を撃てば、そのあたりで次第に大雨になった。誠におそろしい山である。
トヨニ 野立あり

左の絵は、安政五年（一八五八）箱館奉行村垣範正が東蝦夷地を巡視した際の沼見峠の様子。奉行が到着する準備がなされ、火が焚かれています。



【写真右】来場者と記念撮影するウエスギ専務とマイコ秘書【写真下】ライブでギターを弾き語りをする上杉周大さん



襟裳岬到達記念中間報告会

札幌テレビ(S TV)で放映されている「ブギウギ専務」のウエスギ専務(上杉周大さん)とマイコ秘書(S TVアナウンサー小笠原舞子さん)が福祉センターでトークイベントを行い、270人が来場しました。奥尻島から納沙布岬を徒歩でめぐす番組企画「ブギウギ奥の細道」で、折り返し地点の襟裳岬に到達を記念した報告会におおち係長(ダイノジ大地洋輔さん)もテレビ電話で出演。ライブステージでは、上杉周大さんが「ファイターズ讃歌」ほか2曲を熱唱しました。

豊 郷土資料館主催講演会 豊似湖はコケの種類の宝庫

福井県立大学の学術教養センターから大石善隆さんを講師に迎え、福祉センターでコケについての講演会が開かれました。大石講師は、コケが海から陸に植物が進出した歴史が秘められた生物であることや、豊似湖には100種類以上生育していることなど研究結果を説明し、コケツアーなどで、観光資源としても着目されていますと話しました。



森を育むコケについて講演をする大石講師



タオル体操を行う音楽健康指導士と老人クラブ会員

歌 日高管内小ブロック老人クラブ研修会 と音楽に合わせてタオル体操

町老人クラブ連合会主催の研修会が、福祉センターで開かれ、様似・浦河・えりも3町の老人クラブの会員と関係者55人が参加しました。地域包括支援センターの藤井基恵介護支援係長は「認知症を防ぐために」と題した講話を行いました。参加者は第一興商の音楽健康指導士、大橋正知さんと磯清華さんの指導で、楽しく脳と体を活性化させられる歌いながらできる体操や、クイズなどを行いました。

姉 えりも高校「韓国海外研修旅行」 妹校や福祉施設で交流

10月18日から5日間の韓国海外研修を終えたえりも高3年生。11月22日、研修旅行実行委員の生徒は、校長の引率で町長を表敬訪問しました。「海と山の幸フェスティバルで集まった12万円の募金を福祉施設の慶州ナザレ園に届け、入所者と折り紙をしたり、姉妹校の茂山高校でプレゼント交換や合唱で交流を深めました。後輩にも日本では学べないことを経験してきて欲しい」と研修報告をしました。



戦後帰国できなくなった日本人女性が暮らす慶州ナザレ園の入所者と交流するえりも高生



12/2

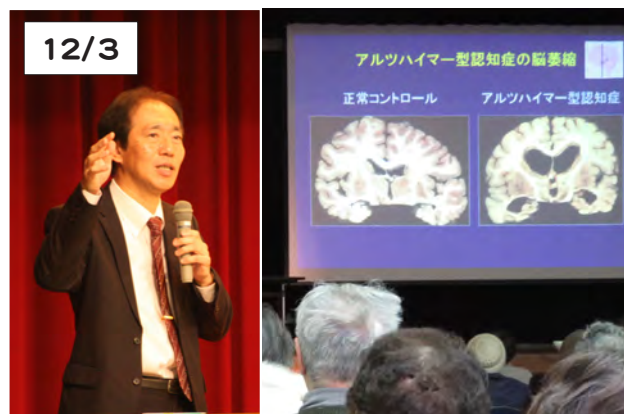
手書きPOPでおすすめの本を紹介する笛舞小の児童

本 道立図書館のPOP作り教室 を読みたくなる広告作り

道教育委員会は笛舞小学校で、読書活動充実事業「POP作り教室」を行いました。この事業は、本屋や図書館のない地域を対象に実施しています。道立図書館司書の須田希さんは、笛舞小の3・4年生12人に、本を紹介するためのPOP作りを指導しました。児童たちは、自分が読んだ本を見ながら絵を描いたり、折り紙を貼ったりと工夫を凝らして作成し、完成後は、本のおすすめしたい点などを発表しました。

認知症テーマの町民フォーラム

認知症の予防・早期発見・認知症の方への対応などの内容をテーマにした町民フォーラムが福祉センターで開かれ140人が参加しました。町国保診療所の高瀬郁夫所長が座長を務め、さっぽろ悠心の郷ときわ病院の宮澤仁朗院長に講演していただきました。生活習慣の見直しによる認知症の改善や、専門医への早期受診を促す理由についてなどを話し、参加者は熱心に聞き入っていました。



12/3

講師の宮澤院長（左）認知症の脳萎縮を説明（右）



12/6

選抜メンバーに選ばれた谷脇君(左)と久保田君(右)

選 2016北海道チャンピオンシップ 選抜チームメンバーで健闘

北海道チャンピオンシップ選抜大会のセレクションに、えりも新栄野球スポーツ少年団から2人が参加。見事合格し、川上教育長を表敬訪問しました。谷脇隼斗君(えりも小6年)は、12月10日・11日に広島県三原市で開催の「第2回全日本県選抜小学生野球選手権三原大会」、久保田陽喜君(えりも小6年)は、12月23日・24日に佐賀県唐津市で開催の「第14回今泉杯西日本友好学童軟式野球大会」に参加しました。

飲料 北海道コカ・コーラの社会貢献 料水を福祉施設へ寄贈

コカ・コーラボトリングは、えりも町の福祉施設や保育所などへ33ケース912本を寄贈しました。このクリスマスプレゼント企画は毎年実施され、今年は約17万本を全道各地の社会福祉施設へ寄贈します。苫小牧販売課の菊地昌博課長は、コカ・コーラ飲料製品と目録を大西副町長へ手渡しました。大西副町長は「毎年の社会貢献に感謝しています。町内の各施設で喜ばれています」とお礼を述べました。



12/7

菊地課長(左)から目録を受け取る大西副町長(右)

防犯



浦河警察署からの お知らせ

1月10日は「110番の日」です

☎0146②0110

携帯電話で110番する場合、車で移動しながらの通報や歩きながらの通報は通話が途切れることがありますので控えてください。また、車を運転しながらの通報は法令違反となる場合がありますので、車を安全な場所に停止して通報をしてください。

メール110番は、耳や言葉の不自由な方が携帯電話のEメール機能を利用して緊急通報するシステムです。通報するときには「事件・事故の内容」のほか、「住所や目標となる建物」「メールアドレス」を正しく入力してください。

緊急の対応を必要としない遺失物・拾得物の届出、諸手続に関する照会などは、最寄りの警察署、交番・駐在所の電話を、相談や警察業務に対する意見・要望は、短縮ダイヤル「#9110」の警察相談専用電話をご利用ください。

空き家



空き家を有効活用

空き家情報登録制度

☎町民生活課 環境生活係

☎②4621

●空き家情報の登録

役場町民生活課 環境生活係まで。

●購入を希望される方

所有者へ直接連絡して、交渉・契約をお願いします。

*空き家情報は、現在3件登録中。

町ホームページで公開中です。

▷最新物件情報

| | |
|------------|--------------------------|
| 物件内容 | 木造住宅 (土地付) |
| 面積 | 96.60㎡ |
| 住所 | えりも町字庶野538番地 |
| 申込者 連絡先 | 斉藤和之さん ☎090-7517-4880 |
| その他 | 売却希望 |

募集



町公共施設等総合管理 計画についての 意見募集

提出先(問合せ先)

建設水道課管財係 ☎②2114

町では、今後人口減少等により公共施設等の利用需要の変化が予想されることから、公共施設等の適正な配置を実現するため、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進する「えりも町公共施設等総合管理計画」の策定作業を行っています。

今回、本計画に町民の皆様の意見を反映させるために、皆様からのご意見を募集いたします。本計画の「概要版」を別冊で折り込んでおりますので、ご覧いただきご意見をお寄せください。

●意見募集期間

平成29年1月6日☎～平成29年1月20日☎

●提出方法

「概要版」に掲載の指定様式に意見を記載の上、住所、氏名、連絡先(電話番号)を必ず記載し、郵送、電子メール、ファックス、持参により提出してください。

お願い



北方領土返還要求署名 にご協力を

2月7日は「北方領土の日」

☎企画課 広報係 ☎②4612

1月21日☎から2月20日☎まで、「北方領土の日」特別啓発期間です。

期間中、役場1階ロビーに、北方領土返還を求める署名コーナーを設置しています。

署名の意志がある方であれば、年齢は制限していません。

北方領土の返還を実現するためにも、多くの方々のご協力をお願いします。

※皆様からいただいた署名は、国会法第79条の規定による請願書として、衆議院及び参議院に提出します。



法律相談



無料法律相談

ひだか弁護士相談センター

お問い合わせ・予約先

☎0146④8373

●相談日・会場

1月17日(火) 2月21日(火) 保健センター

●相談時間

13時30分～16時

※事前予約制(予約受付:平日10時～16時)

免許



運転免許更新時講習

優良・違反

岡町民生活課 環境生活係

☎②4621

●講習日・会場

1月18日(火) 福祉センター

●講習時間

○優良講習 13時～13時30分

○違反講習 14時～16時

医療



町立診療所と庶野診療所の診療表

1月6日～1月31日

岡町立診療所 ☎②2265 庶野診療所 ☎④2219

1月6日から1月31日までの診療は、右表のとおりです。

また、町立診療所の診療は、町の公式ホームページからも確認できます。トップページから国民健康保険診療所のページへアクセスしてご覧ください。

なお、都合により診療予定が変更となる場合もありますので、ご了承ください。

●受付時間

◇町立診療所

8時30分～11時30分

13時～16時30分

◇庶野診療所

9時～11時30分

14時～16時30分

●診察表の見方

○…診察

休…休診

検…検査

訪…訪問診療

| | 町立診療所 | | | | | | 庶野診療所 | |
|----------|---------|----|----|----|-----|----|-------|----|
| | 内科 | | 外科 | | 小児科 | | 午前 | 午後 |
| | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | | |
| 1/6 (金) | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 |
| 1/9 (祝) | 休(成人の日) | | | | | | | |
| 1/10 (火) | 検 | 検 | 休 | 休 | ○ | ○ | 休 | ○ |
| 1/11 (水) | ○ | ○ | 休 | 休 | ○ | ○ | ○ | 休 |
| 1/12 (木) | ○ | ○ | 休 | 休 | 訪 | 訪 | 休 | 休 |
| 1/13 (金) | ○ | ○ | 休 | 休 | ○ | 休 | 休 | 休 |
| 1/16 (月) | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 |
| 1/17 (火) | 検 | 検 | 休 | 休 | ○ | ○ | 休 | 休 |
| 1/18 (水) | ○ | ○ | 休 | 休 | ○ | 訪 | 休 | 休 |
| 1/19 (木) | ○ | ○ | 休 | 休 | 訪 | ○ | 休 | 休 |
| 1/20 (金) | ○ | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 |
| 1/23 (月) | 休 | ○ | 休 | 休 | ○ | ○ | 休 | 休 |
| 1/24 (火) | 検 | 検 | 休 | 休 | ○ | ○ | 休 | 休 |
| 1/25 (水) | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 1/26 (木) | ○ | ○ | 休 | 休 | 訪 | 訪 | ○ | ○ |
| 1/27 (金) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | 休 |
| 1/30 (月) | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 |
| 1/31 (火) | 検 | 検 | 休 | 休 | ○ | ○ | 休 | 休 |

※外科はすべて代診医師。

※1/25(水)の内科は、医師不在のため休診となります。

※1/30(月)の小児科は、医師不在のため休診となります。

※1/6(金)、1/27(金)の外科の診察は、午前10時からとなります。

本件に関し、お心当たりのご遺族の方は、各大学の担当窓口までお問い合わせをお願いいたします。

また、一体のご遺骨等について、複数のご遺族から返還のお申し出がある場合も考えられますことから、一番初めにお申し出いただいた方の手続きが行われてから、一年の間、他の方からの返還のお申し出をお受けいたします。(現在公開しておりますご遺骨等には、既に返還のお申し出をいただいているものがございます)

手続きや身元が判明したご遺骨等の情報など、詳しくは、各大学のホームページをご確認いただくか、または各大学の問合せ窓口までお問い合わせをお願いいたします。

◇問合せ窓口

北海道大学アイヌ遺骨返還室

☎0120-622-277

HP:<http://www.hokudai.ac.jp/news/2016/09/post-411.html>

札幌医科大学事務局総務課

☎0120-361-115

HP:<http://web.sapmed.ac.jp/jp/smu-ainu.html>

●65歳以降の定年の引上げや継続雇用制度の導入を検討している事業主の皆さまへ

☎独立行政法人 高齢・障害・求職者支援機構 北海道支部
☎011-622-3351

「ニッポン一億総活躍プラン」(平成28年6月2日閣議決定)において、65歳以降の継続雇用延長や65歳までの定年延長を行う企業等に対する支援の実施が盛り込まれたことを受け、65歳超雇用推進助成金を創設し、65歳以上への定年引上げ等を行う企業に対して重点的に支援を行うことで、65歳以降も希望者全員が安心して働ける雇用基盤を整備するとともに「生涯現役社会」の構築を図ります。

概要については、次のとおりです。

平成28年10月19日以降に労働協約又は就業規則に以下の制度を規定し、制度を実施した場合に助成(1事業主につき1回限り)

| | 導入する制度 | 助成額 |
|---|----------------------------|-------|
| ① | 65歳への定年引上げ | 100万円 |
| ② | 66歳以上への定年引上げ又は定年の定め廃止 | 120万円 |
| ③ | 希望者全員を66歳～69歳まで継続雇用する制度の導入 | 60万円 |
| ④ | 希望者全員を70歳以上まで継続雇用する制度の導入 | 80万円 |

1月の行事

- 1日回 初日の出 風の館臨時開館
(5時～8時)
- 5日回 消防出初式
(消防えりも支署前/9時30分～)
- 8日回 成人式
(福祉センター/13時～15時)
- 12日回 第53回つけものコンクール
(福祉センター/10時～13時)
- 28日回 わらしゃんど・えりもまるごと自然体験
(悲恋沼など/9時～16時)

ご厚志に感謝

- 吉田 章さん(庶野)
やまと苑へ 50,000円
えりも町社会福祉協議会へ 50,000円
- 中澤 和代さん(近浦)
近浦自治会へ 30,000円
- 川合 優樹さん(本町)
東洋第3自治会へ 50,000円
えりも町社会福祉協議会へ 30,000円
やまと苑へ 30,000円
- 才津 恵美子さん(本町)
えりも町社会福祉協議会へ 50,000円
- 村中 幸光さん(歌別)
歌別第3自治会へ 50,000円
デイサービスセンターへ 20,000円
- 松緑神道大和山苦小牧教区婦人会
やまと苑へ (オムツ代として) 26,000円



サンタクロースは、町内の幼稚園、保育所の園児へクリスマスプレゼントを配りました(12/20「祭本舗 風舞」)

暮らしの 掲示板

1

11月末の人口と世帯数

人口 4,930人 (-11)
男：2,473人 (-6)
女：2,457人 (-5)
世帯数 2,160世帯 (-6)
※外国人含む、()内は前月比

11月末の人口動態
出生2人 死亡6人 転入7人 転出14人



税の納期

◆国民健康保険税 第7期
(納期限 平成29年1月31日)

お知らせ

●定例行政相談所(1月)の開催

☎総務課庶務係 ☎2111

総務省の行政相談は、国など行政への苦情や意見、要望を受付け、相談者と行政機関の間に立ち、公正・中立の立場から、問題解決を目指す制度です。実際の相談は、総務大臣から委嘱を受けた行政相談委員が対応します。

毎月、第4火曜日の10時から12時まで、定例で行政相談所を開設します。困り事や苦情・ご意見・ご要望がありましたら、お気軽にご相談ください。

【担当行政相談委員】 鍵谷 俊一

◇日時

1月24日(火) 10時～12時

◇場所

保健センター1階 集団検診室

●障がい者相談支援事業所「ういず」をご利用ください

☎障がい者相談支援事務所「ういず」

☎/FAX 0146-26246 ✉ uizu@u-kouyouen.jp

☎057-0032 浦河町向が丘西2丁目568-66

町では、障がいのある方の困りごとや相談に答え

るため、相談支援事業所「ういず」へ支援業務を委託しています。「ういず」では、来所や電話、訪問による相談のほか、月に1度、役場保健センターで巡回相談を行っています。一般的な相談は無料ですので、お気軽にご利用ください。

◇巡回相談日程

1月16日(木) 2月20日(木)

◇時間

10時から12時まで

●ジェイ・アール北海道バスの臨時便運行について

☎ジェイアール北海道バス株式会社様似営業所

☎0146-3432

「えりも・ひろお号」(広尾～札幌間)の臨時便が12月28日～1月5日まで運行いたします。

詳細につきましては、様似営業所へお問い合わせください。

●北海道電力からのお願い

この冬も引き続き「無理のない範囲での節電」にご協力いただきますようお願いいたします。

詳しくは、ほくでんホームページをご覧ください。

[ほくでん節電](#)

[検索](#)

●働いている調理師の皆様へ!

☎北海道浦河保健所 ☎0146-3071

次のところで調理の業務に従事している調理師は届出が必要です。

◆学校、病院、社会福祉施設、介護老人保健施設、老人福祉施設、その他多数の人に飲食物を調理して供与している施設

◆飲食店営業、魚介類販売業、そうざい製造業

この届出は、2年ごとに行うことになっており、今年がその年にあたりますので、平成28年12月31日現在の状況を、一般社団法人北海道全調理師会浦河支部えりも分会(所在地 幌泉郡えりも町本町 味楽亭 飯田稔 ☎01466-2604)に平成29年1月11日までに届けてください。

届出用紙は、一般社団法人北海道全調理師会浦河支部又は北海道日高振興局保健環境部保健行政室(北海道浦河保健所)企画総務課企画係に備えてあります。

●アイヌ民族の遺骨の返還に関するお知らせ

北海道大学及び札幌医科大学では、各大学が保管しているアイヌ民族のご遺骨等のうち、身元が判明したご遺骨をお返しする手続きを開始いたしました。



街角トピックス



11月21日、「わらしやんど・えりもまるごと自然体験」で、まゆだまとクリスマスリース作りを行いました。百人浜では、リース用のつるを収穫してその場で輪を作り、福祉センターに戻ってから飾り付けをしました。参加者は交代で雑煮用とまゆだま用のお餅をつき、ピンクや黄色など色が付いたまゆだま用のお餅は、ミズキの木にきれいに飾りつけました。

「親子でキャンドル作り」が11月27日、福祉センターで開催され、10組の親子が参加しました。紙パックキャンドルとジェルキャンドル作りを親子で協力して挑戦。ガラス細工や担当職員が百人浜で拾った貝がらとビーチグラスなどをガラスの中に飾り、クリスマスなどで使えるキャンドルを完成させました。



すぎもと ほとか
杉本 穂宝くん

大和・H28.1.28生
司さん/静香さん

暴れん坊の甘えん坊。
優しく元気いっぱい
育ててね☆



なかの あさひ
中野 朝陽くん

新浜・H28.1.12生
典彦さん/弥美さん

いつもニコニコみん
なの癒しです。すく
すく元気に育ててね。

1歳のお誕生日おめでとう!

えりもの子

すくのび



1 月生まれ



えりも町公式ホームページ →
スマートフォン版のホームページ
では、カラーの「広報えりも」が
ご覧になれます。



えりも町公式facebook →
観光やイベントなどの情報を
より多くの皆さまに、いち早く
お知らせします!

